　　　 　年　　月　　日（　）

教材番号

**1**

「自分の親は将来の自分」期（子育て準備期）

「親はウルサイけどアリガトウ」編

（中学生・高校生などの青少年を対象としたプログラム）その1

　中学生・高校生など青少年の時期は，自分の親でさえも口うるさく感じることがあります。

　「親になるって，どんな気持ちなのだろう」「親になったら，どんな生活が待っているのだろう」…将来の自分の姿を想像してみましょう。

　自分と親との関係にも，少しは変化が現れるかも！？

イラスト：うじな　かずひこ

広島県教育委員会

※このシートは，回収しません。自分の考えをまとめるものですので，自由に書いてください。

目の前に卵があります。

それは，あなたの子供です。

１　卵を手で温めましょう。

　（温めながら，もうじき生まれてくる子供の名前を考えましょう。）

お母さんのお腹の中ではぐくまれてきた赤ちゃんが，生まれてきました。

やっと会えたね！私の赤ちゃん！！

２　卵に，顔と名前を書きましょう。

命名「　　　　　　　　　　　　　　　」

どうしてその名前にしたのですか。

授乳におむつ交換…忙しかった乳児期も過ぎて，幼稚園・保育所等へ入ります。

３　卵を，かご（幼稚園・保育所等）に入れましょう。

手離すとき，どんな気持ちでしたか。

小学校，中学校…その先も，進学，就職と，これからこの子は，いろいろな経験をしながら，一人前の大人に成長してゆくのでしょう。

４　２～３人ずつ，自分の卵をかごから取り出します。

※人数が多いときは，数人ずつ取り出します。

５　みんなで輪になって，その卵を回しましょう。

※卵を落とさないように，左隣の人から受け取り，右隣の人に渡しましょう。

６　一周回ったらかごに戻しましょう。

※同じようにして，全員の卵を回しましょう。

他の人の卵を回しているとき，どう感じましたか。

自分の卵を他の人が回しているとき，どう感じましたか。

自分の卵が戻ってきたとき，どう感じましたか。

７　最後は，パックに戻しましょう。

卵をパックに戻したとき，どんな気持ちになりましたか。

●実際には，赤ちゃんは卵ではありません。大きな声で泣いたり，にっこり笑ったり，ウンチや

オシッコをしたり，ミルクを吐き出すこともしばしばです。

●機会があれば，子育て真っ最中の方から，赤ちゃんとの生活について，話を聞かせてもらったり，赤ちゃんを抱かせてもらったりしましょう。

●もし許してもらえれば，妊婦さんのお腹をそっと触らせてもらいましょう。

自分の親（保護者）に対して，どう思いましたか。

自分の中で，分かったこと，考えが変わったことがあれば，書いてみましょう。

　　お問合せ：〒730-0052　広島市中区千田町三丁目7-47　広島県立生涯学習センター

TEL：082-248-8848　　FAX：082-248-8840　　E-mail：sgcshinkou@pref.hiroshima.lg.jp